

四川省 ～都江堰経済開発区～

岡山県上海事務所 池田 稔

(日中経済貿易センター上海事務所 所長)

11月、四川省から都江堰経済開発区一行が当事務所を訪問してくれました。四川省は中国中西部の重要な省で、都江堰市はその省都・成都市の北部に位置する県級の市です。2008年5月の四川大地震の際に大きな被害を受けましたが、上海市が復興パートナーとなり新しい街づくりが進められています。その都江堰経済開発区について紹介します。

2つの世界遺産を持つ都江堰市

開発区のある都江堰市は四川省成都平野西北部に位置し、西部の特大都市である成都市から39km、成都双流国際空港から60kmに位置し、観光で有名な「樂山－峨嵋山－成都－九寨溝」のゴールデンコースの中心部に位置する。

市面積は1,208平方kmで、人口は80万人。年平均気温は15.2℃と岡山市に、全市森林率は60%程度と岡山県平均に近い。

都江堰市の名前の由来は「都江堰」水利施設からきている。国内外で有名な観光都市で、都江堰市は「青城山と都江堰水利(灌漑)施設」と「四川ジャイアントパンダ保護区群」という二つの世界遺産を持つ。

都江堰経済開発区

省級の重点経済開発区で、成都市ハイテク開発区と相互補完関係にある。省「健康食品・漢方薬産業区」、商務部指定「中国アウトソーシ

ング基地都市モデル区」、「国家デジタル娯楽産業基地」であり、成都市の伝統的な機械、電子産業の集積地である。

計画面積は20km²で、内6.67km²の第一期工事が完了し、200数社の企業が入居している。5.1km²の都市機能エリアの建設と2km²の第二期工事も進められているが、今後の長期計画のため6.13km²の土地が留保されている。

<交通>

開発区から成都市中心部へは、自動車の場合は高速道路等を利用すれば30分以内で、成灌快速鉄道なら15分程度で到達可能。

なお、開発区から30分交通圏域には、富士康(フォックスコン)、聯想(lenovo)、偉創、偉創利、TCL、大唐電器、仁宝など多くの大手電子産業企業や中国西部地区最大の金属機械電機取引市場があるなど、部品調達や製品販売に有利。

<インフラ>

省内の開発区では唯一、国と地方の二系統の電力網から電力が供給されている。変電所が三つあり、年間20億kwの電力を提供できる。また、開発区全体へのガス提供が可能であるほか、開発区内の浄水場から、国家一級標準の水を日量10万m³供給でき、更には工業用水の供給体制も整備されている。汚水処理能力は日量6万tである。

<レンタル工場>

電子産業向けの基準により建てられた標準工場(レンタル工場)が、合計30万m²分ある。一階建てから四階建てまで四種類のものがあり、

面積も最小 1,100 m²から最大 5,300 m²のものまで様々である。

<人材資源>

都江堰市内に、東軟情報技術学院、四川農業大学、工商技術職業学院、四川外国語学院、成都技師学院がある外、周辺に、四川大学、電子科技大学、四川理工大学、成都理工大学、成都情報工程大学など数十の大学がある。

<生活>

開発区から都江堰市中心部や文化施設、病院、学校、娯楽施設が集まる「一街区」などの生活エリアには、10分以内で到達可能である。

<優遇政策>

土地購入により工場を建設する企業に対しては、納税額年間 500 万元以上の場合、全税金の地方賦課部分について、最初の二年間は全額を還付し、後の三年間は納税額 500 万元以上の部分は 100%、500 万元の基礎部分は 60%、40%、20%の比率で企業に還付する。

(2011 年 12 月)